

◆主題名

真実を追い求める

内容項目
A-(5) 真理の探究教材名・出典
戦争を取材する

本時のねらい

真理や真実を求め、理想の実現に向けてよりよく生きようとする態度を育てる。

生徒の実態を把握するために必要なアンケートの内容

L
i
n
k中心となる発問を主題とつなげるために、どんな発問をしておけばよいだろうか。

① 父親が美香さんに「ありがとう」といったのは何故か。

② 「知らないことは罪」とは、どういうことなのか。

③

◆テーマ

(中心となる発問)

真実を知ろうと思う？ 思わない？

ねらいとする価値に迫るために

なぜ学び合う活動をさせるのか、その意図を明確に。

◆学び合う活動のねらい

変容をねらう 多様さに気付かせる 自分の考えを深めたり広げたりする

その他()

学び合う活動のねらいを達成するための手立て

1 心情円盤 2 ネームプレート 3 付箋紙 4 心のものさし 5 ICT 6 その他

学び合う活動のスタイル

1 フリー(3～5人) 2 ペア 3 グループ 4 その他

◆最後の振り返り

この時間を通しての「本音」が聞けるように！

【授業後の反省】

はじめの1時間目は、戦場カメラマンとしての役割に、自信が持てないでいた山本さんが、紛争地の人々との出会いの中で感じたことを考えながら、山本さんを突き動かした、使命感や決意、強い思いにせまった。しかし、主題でもある「真実を追い求める」ためには、疑問や問いを探究し続け、新しい発見につなげることが重要なポイントであると考え、2・3時間目は、中心発問を、「戦場で起きていることを知ろうと思うか、知ろうと思わないか」とし、理由まで発表させた。

最終的には、「知りたい。そして、伝えたい。」と思う、山本さんの行動を振り返りながら、道徳の班活動でも、様々な意見に触れ、見方、考え方を変えながら、新しい発見をしていることに気付かせた。